

日本生命保険相互会社

<https://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/>



《将来に向けた取組方針》

<1>気候変動問題（CO₂削減）、<2>海洋プラスチック問題、<3>生物多様性への対応を3つの柱としてグループ全体で取組む。「生物多様性への対応」について、以下の取組を通じて持続可能な社会の実現に貢献する。

- ①「ニッセイの森」の整備を通じたCO₂吸収、自然環境学習等による生物多様性の保全への貢献
- ②日本生命財団「環境問題研究助成」での若手研究者の生物多様性関連科学研究支援
- ③全国の当社職員によるボランティア活動による地域の生物多様性の保全活動への参加

また、生物多様性に関する研修を行うと共に、地域社会の皆さまにも生物多様性の問題を積極的に発信する。これらの取組は、地域社会の皆さまや専門家と協働で実践していく。

〈日本生命の環境取組〉

○生物多様性への対応

- ①「ニッセイの森」の整備を通じたCO₂吸収、自然環境学習等による生物多様性の保全への貢献

日本生命職員による任意団体である“ニッセイの森”友の会は（公財）ニッセイ緑の財団とともに1992年から森づくりに取り組み、自然環境学習の場として生物多様性保全に貢献している。（全国200カ所、136万本を植樹）

- ②日本生命財団「環境問題研究助成」での若手研究者の生物多様性関連科学研究支援

（公財）日本生命財団では、「人間活動と環境保全との調和に関する研究」に對して、40年にわたり、助成を行っている。その中で生物多様性に関わる若手研究者の研究を支援。

- ③全国の当社職員によるボランティア活動による地域の生物多様性の保全活動への参加

全国の支社で毎年、定期的にボランティア活動を行っており、その中で、生物多様性の保全に繋がる活動も実施している。これらの活動を生物多様性に関わる団体や地方自治体等と協力して実施していく。



ラムサール条約登録湿地「春国岱」に於ける外来植物の除去ボランティア（道東支社）



植樹活動の様子



シンポジウムの様子



“ニッセイ鮭川の森”育樹活動（山形支社）

○気候変動問題（CO₂削減）

- ・CO₂排出量削減目標（基準年2013年度）
「2030年度に▲40%、2050年度に▲80%」
- ・目標達成に向け、保有ビル・営業拠点の省エネルギー化、社有車のEV車等の導入またオフィスでの省エネ・省資源取組等に取り組む。

○海洋プラスチック問題

- ・環境省の「Plastics Smart」キャンペーンに賛同し、社内売店、近隣コンビニでのレジ袋削減運動を実施。
- ・使用済クリアファイルの再生・再利用。
- ・海ごみ削減を目的とした環境省の“海ごみゼロウィーク”の趣旨に賛同し、各地で清掃活動を実施。
- ・お客様訪問時に持参する物品へのエコグッズの品揃え拡大（エコバッグ、マイボトル、紙ストロー等）。